



図書館 だより

図書館 ☎69・3706

今月の特集

「エコ=環境に良いこと」

今月は、日本のエネルギー事情や環境問題から関心の高いエコを特集します。



『自然に学ぶ特なテクノロジー』

石田秀輝/著 化学同人
完璧な循環を持つ自然から新しいテクノロジーを考える。



『発電する家「エコだハウス」入門』

小池百合子/著 プレジデント社
実際に「エコだハウス」に住む著者によるライフスタイルの紹介。



『エコ論争の真贋』

藤倉良/著 新潮社
エコをめぐる論争を科学者の視点から公平に紹介・解説する。

分類特集は
「64」：畜産業

6

ペットについて
学ぼう！



『ひつじにあいたい』

佐々倉裕美/文 山と溪谷社
北海道から九州まで、ひつじに会える牧場を豊富な写真入りで紹介。ひつじの魅力がいっぱいのガイドブック。



『男前猫』

新美敬子/著 河出書房新社
世界各国の選りすぐりの男前猫たちの写真とエッセイで綴る、可愛くて面白い猫好きゴコロをくすぐる本。



『わさおデイズ』

菊谷節子・工藤健/著 マーブルトン
青森在住、モジャモジャ秋田犬わさおの、子犬から現在(推定2歳)までを追ったショートムービー風写真集。

他にも、さまざまな動物や昆虫の飼いが
紹介された本があります！

「オタリアがやってきた！」

■3度目の正直

8月27日の早朝、やっと水族館に新しいアシカの仲間「オタリア」が南米のチリから到着した。鉄格子の金網窓のついた木箱に入ってやってきたオタリアの第一印象は「臭いなあ」だった。チリから来た野生のそれは獣の臭いからすごかった。

もう少し早い時期に水族館にやってくるはずが、輸送飛行機の手配やカナダでの乗り換え手配が難航して2回も来館日がキャンセルになり、3回目でもやっと到着。動物を捕獲する南の人というのはそういう人柄なのか、沖縄方面の漁師さんも同じで、やる気がないと今日は海が荒れているから採れない、海のお祭りだから海に入ってはダメだとか言っていて、さらには音信不通になったりすることが多い。気が向くと逆に「何でも採って送るよ！」と笑顔で毎日連絡がきたりする。

■とにかくカワイイ！
野生から来たアシカ類は、数週

間は環境の変化や警戒心からエサを全く食べないということも普通なのですが、その日にうちにアジを食べて、次の日には「もつとくれ！」とせがむようになった。どんな動物でもやってきて数週間とはかく観察してお互い相手を把握することが重要なので、優しく話しかけてスキンシップを取るように接し、一方では飼育員の目で穴のあくほど観察をしています。時々飛んでくるヨダレや鼻水は感動的に臭く、顔に付くと絶叫してしまいます。



クリクリした目玉にアシカよりも短く丸い顔はとにかく抱きしめたくなるほどかわいらしい。しかしそう思っただけで近づくのは威嚇してかみ付こうとしてきます。やはり野生から来た猛獣だと頭には叩き込んでおかないと、すぐにかまれて殉職してしまいうです。彼女のリズムで少しずつ環境に慣れさせ、トレーニングを開始し、早くお披露目をして新しいスターに育て上げたいと思っています。



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎68・2059